

### 第 3 問

次の(1)～(4)の文章を読んで、下記の設問 A・B に答えなさい。解答は、解答用紙(ハ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

- (1) 17 世紀を通じて、日本の最大の輸入品は中国産の生糸であった。ほかに、東南アジア産の砂糖や、朝鮮人参<sup>にんじん</sup>などの薬種も多く輸入された。それらの対価として、初めは銀が、やがて金や銅が支払われた。
- (2) 江戸幕府は 1685 年に、長崎における生糸などの輸入額を制限した。1712 年には京都の織屋に日本産の生糸も使用するよう命じ、翌年には諸国に養蚕や製糸を奨励する触れを出した。
- (3) 1720 年には、対馬藩に朝鮮人参を取り寄せるよう命じ、栽培を試みた。その後、試作に成功すると、1738 年には「江戸の御用達<sup>ごようたし</sup>町人に人参の種を販売させるので、誰でも希望する者は買うように」という触れを出した。
- (4) 1727 年に幕府は、薩摩藩士を呼び出し、その教えに従って、サトウキビの栽培を試みた。その後も引き続き、製糖の方法を調査・研究した。

#### 設 問

A 江戸幕府が(2)～(4)のような政策をとった背景や意図として、貿易との関連では、どのようなことが考えられるか。2 行以内で述べなさい。